

経営比較分析表（令和5年度決算）

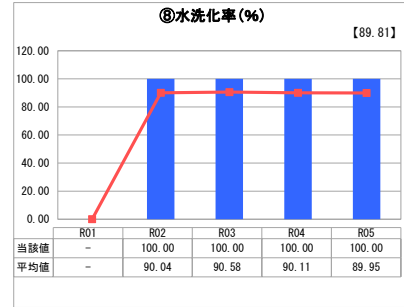
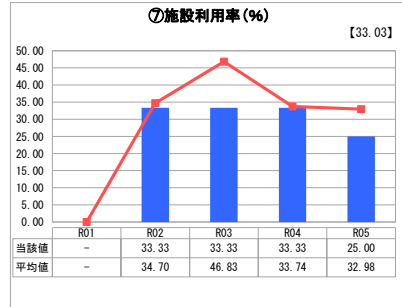
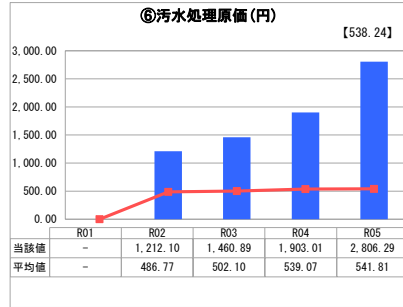
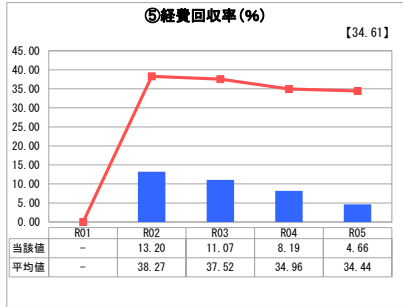
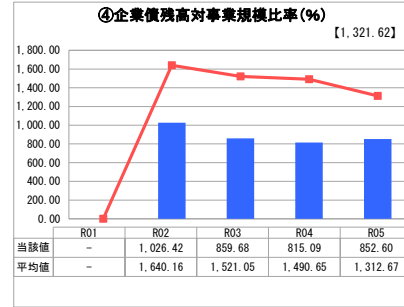
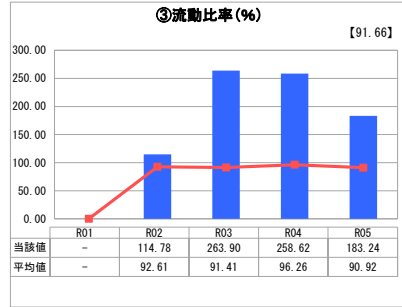
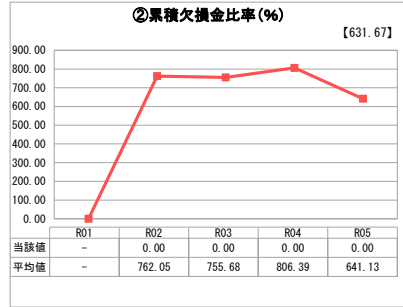
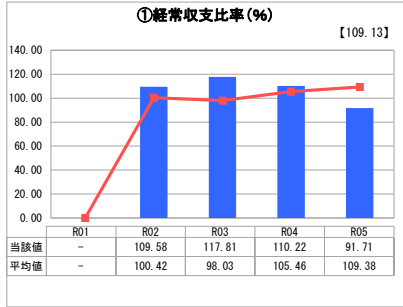
佐賀県 唐津市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	小規模集合排水処理	12	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	80.13	0.01	100.00	3,300

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
115,475	487.60	236.82
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
16	0.03	533.33

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

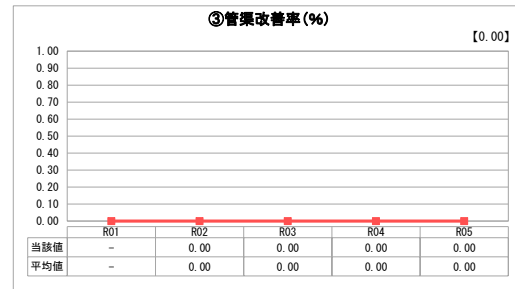
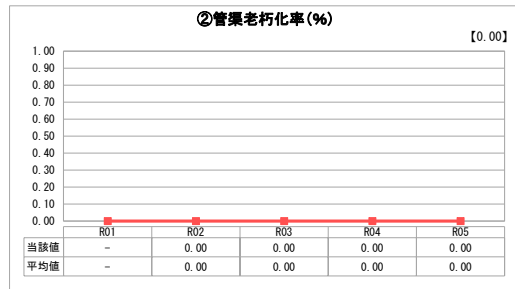
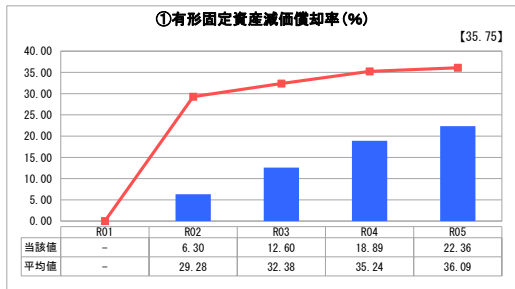
1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率について、料金収入の減及び維持管理費の増により100%を下回ることとなった。
 ②累積欠損比率は、欠損金は無いが一般会計からの繰入金により賸われているため、収入の増加、費用を削減する対策が必要である。
 ③①と同じ理由により現預金が減少し前年度より低い数値とはなったが、100%は上回っている。
 ④企業債現在高は減少しているが、それ以上に料金収入が減少したため、昨年より高い数値となっている。
 ⑤経費回収率は、4%と非常に低いことから事業規模に対する下水道使用料等の収入が足りないことがわかる。人口減少による有収水量の減少が著しい。
 ⑥汚水処理原価は、経費回収率と同様の理由により平均値を大きく上回っている。
 ⑦施設利用率は人口減少が進んでおり、使用水量の減により25%と非常に低い数値となっている。
 ⑧水洗化率は100%を達成している。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、企業会計移行から4年目であるため平均値を下回っているが、供用開始から27年が経過しているため老朽化が進んでいる。
 ②管渠老朽化率は、法定耐用年数(50年)を経過している管渠はない。
 ③管渠改善率は、老朽管がないため更新等は行っていない。今後は、施設の適正な管理を行うとともに経年劣化による不具合が生じた場合は、修繕等により随時対応していくこととしている。

2. 老朽化の状況



全体総括

料金収入が不足する理由は、離島に小規模集合排水処理施設があるため維持管理費が高まっていることや、人口減少による使用料の減少、地域間格差を生じさせないように集落排水使用料の設定を公共下水道と同額としていることが考えられる。人口減少が進んでいるため、更新時のダウンサイジングや、料金改定を行い経営の安定化を図る必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。